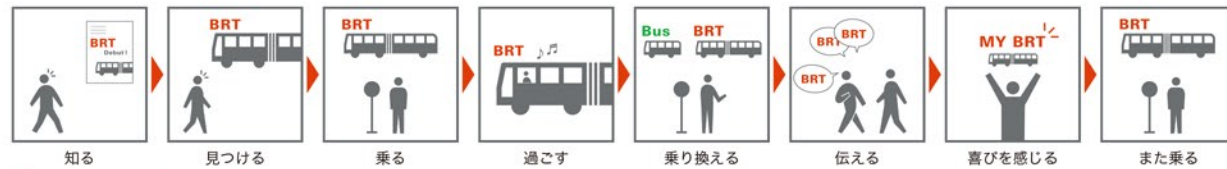


トータルデザイン

「見つける」「乗る」「過ごす」「乗り換える」といったBRT利用者の一連の行動をデザインを通じて結びつけることを目的としている。



■トータルデザインの視点

シンボルカラーの朱色は新潟の資源である光り輝く夕日がモチーフ。シンボルロゴは夕陽から放たれるリングの形状とし、まちなかでの明示性を発揮するほか、人と人、人とまちとのつながりや基幹公共交通軸の実現を表現している。



■4つのコンセプト

市役所ターミナルは道路を挟んだターミナルを一体的にデザインし、自然光を取り入れたシンプルで明るく開放的なデザインとしている。



■シンボルカラー、シンボルロゴ、シンボル展開イメージ

連節バスはシンボルカラーを側面の外周にリング状に配色し、連続性を持たせて車両長を活かしている。また、前面をフルカラーとして明示性や先進性を表現。



■市役所ターミナルデザインイメージ ■シート柄イメージ

シートには亀田綿®をモチーフとしたストライプやあたたかみのある色彩、つり革は持ち手に木材を用いるなど、新潟の地域性やもっと乗っていただく快適性を表現している。



■連節バスデザインイメージ

BRT一般バス

BRTは連節バスと一般のバス車両を組み合わせるため、新潟交通が所有する一般バス車両に対しては、前面にBRTのシンボルロゴを設置し、BRTと認識しやすくしている。



■BRT一般バス

連節バス「ツインくる」



■ツインくる ロゴ



■連節バス「ツインくる」

特徴

- ▶ 車両幅や軸重などが国内の標準的な規制値に適合。
- ▶ 国内やヨーロッパにおける最高水準の排出ガス規制に適合しており、環境性能に優れる。
- ▶ 広い床面と併せバリアフリー対応として、折りたたみ式のスロープ板のほか、座席を折りたたんで車いすの固定が可能。
- ▶ 愛称は公募により選定された「ツインくる」。
- ▶ 運転手1人で一般バス約2台分の輸送力を発揮することから、一般バスに比べより効率的な運行が可能となり、それによって生じた余力(車両や運転手)で郊外路線を増便できる。
- ▶ 一般バスのみで本市のBRTを運行する場合と比べ、連節バス4台(運行開始時点の台数)を導入することで、さらに郊外のバス運行本数を125本増便できる。(新潟交通(株)試算)
- ▶ 積雪時においても低床型の一般バス並みに走行可能。

試乗会の意見を踏まえた工夫

- ▶ つり革を多く設置。
- ▶ 視覚障がい者から不安の声があった後ろ向きの座席をなくし、要望のあった荷物置きへと変更。
- ▶ バス車内の段数を増やすことで、1つの段差高をおさえている。



連節バス「ツインくる」と一般ノンステップバスの主要諸元比較 ※代表車両の比較

	連節バス「ツインくる」	一般ノンステップバス (オムニバスタウン事業時導入車両)
定員	116名 座席46席/立席75名/乗務員1名	75名(三菱製車両) 座席33席/立席41名/乗務員1名
全長	17.99m	11.49m
全幅	2.49m	2.49m
全高	3.21m	3.04m
総重量	22.760t	15.715t